



2023年12月期 第3四半期決算説明資料

株式会社 エージェント・インシュアランス・グループ
(証券コード：5836)

2023年11月

Index

目次

01 会社概要

02 2023年12月期 第3四半期決算概要

03 トピック・2023年12月期 業績見通し

保険の「あんしん」は人で完成する。

✔ 企業理念

お客様の利益創出に最善を尽くす
— Doing Our Best On Your Behalf —

国内事業

保険代理店

全国に21拠点を構え、個人及び法人に向けて損害保険・生命保険を販売する保険代理店。



※2023年11月14日現在

海外事業

海外保険ブローカー

世界最大の米国保険マーケットにおいて、西海岸を中心に3つの拠点を構え保険ブローカー業を展開。



※2023年11月14日現在

営業収益比率

国内生命保険

25.4%



国内損害保険

74.6%

※2022年12月期

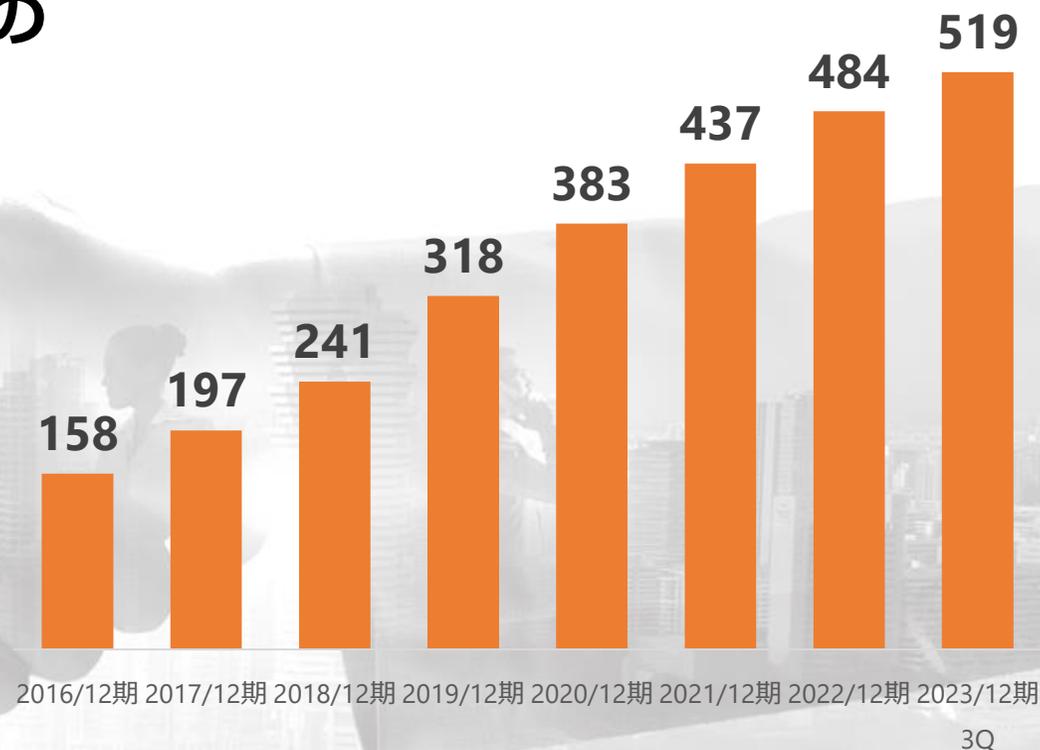
当社は統廃合が進む保険代理店業界に対して、積極的なM&A及び事業承継戦略を推進しています。保険代理店で働く方々の事業継続をサポートし、その先のお客様が「あんしん」できる環境を創出しています。

エージェント・インシュアランス・グループの

M&A及び事業承継戦略

保険代理店の成長や発展を促進

合流代理店件数 **519**件※1



Index

目次

- 01 会社概要
- 02 **2023年12月期 第3四半期決算概要**
- 03 トピック・2023年12月期 業績見通し

営業収益

2,588百万円

+5.8%
(前年同期比)

営業利益

80百万円

△46.3%
(前年同期比)

取扱保険料

374億円

+21.7%
(2022年12月末比)

お客様の数

12,812社
139,169人

+12.3%
(2022年12月末比)

- 国内事業では、ビジネスモデルの根幹であるM&A及び事業承継の取組みが引き続き順調に推移。
- M&A及び事業承継に伴う組織体制・運営体制の強化により、営業利益は前年同期比で減少。
- 3Q累計で35件のM&A及び事業承継を行い、お客様の数は、法人が12,812社、個人が139,169人。

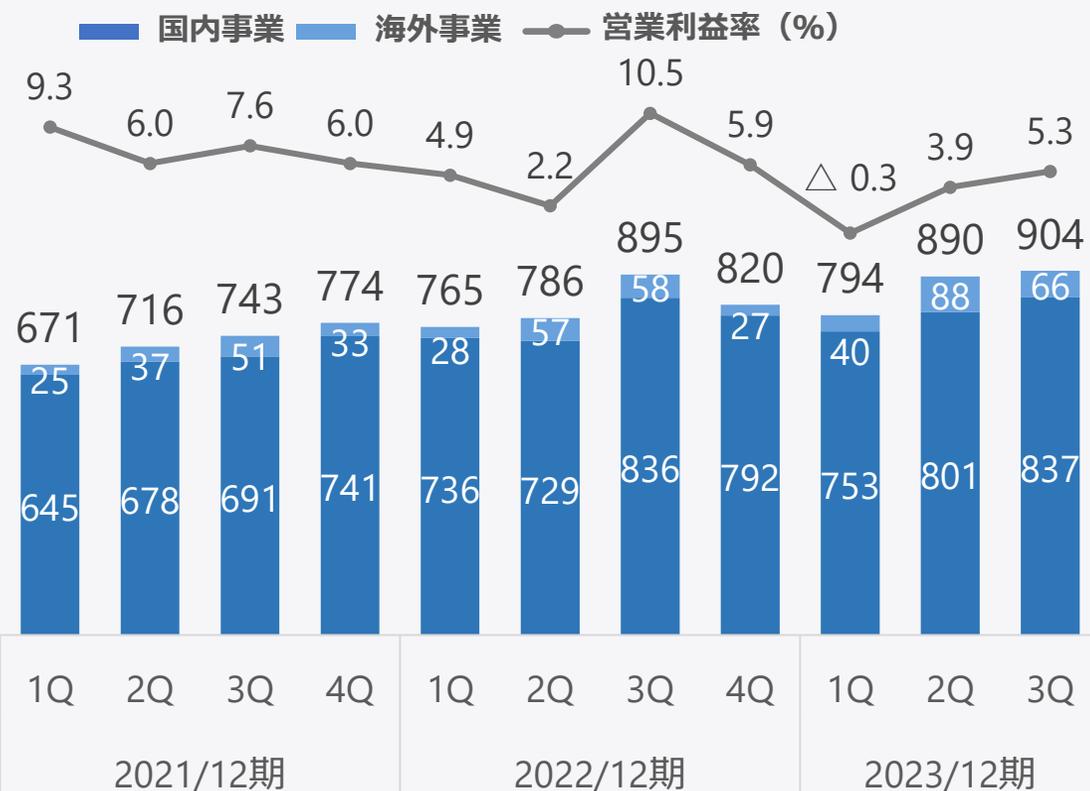
2023年12月期 3Q損益計算書サマリー

国内ではM&A及び事業承継が順調に推移、米国では順調な増収等により、営業収益は5.8%増加。組織体制・運営体制の強化を先行して行ったことにより、営業利益並びに当期純利益は前年同期比で減少。

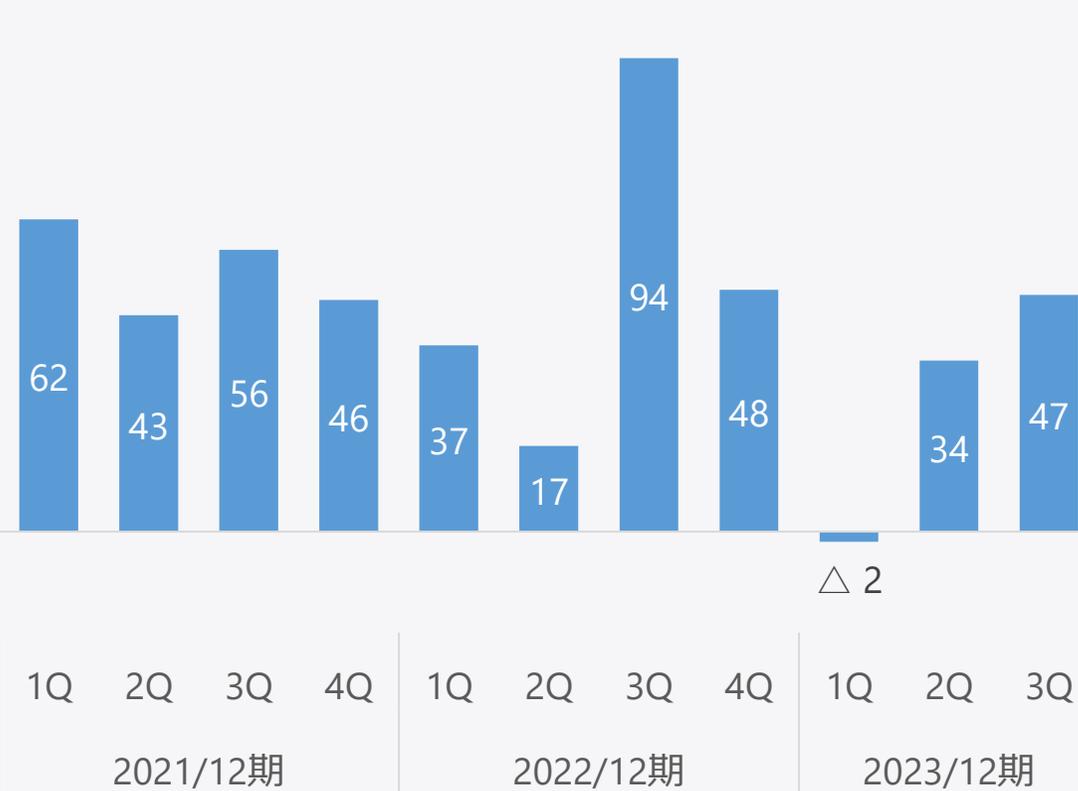
(百万円)	2022/12期 3Q累計		2023/12期 3Q累計		
	実績	営業収益比 (%)	実績	営業収益比 (%)	増減率 (%)
営業収益	2,447	100.0	2,588	100.0	+5.8
国内事業	2,302	-	2,392	-	+3.9
海外事業	144	-	196	-	+35.3
営業費用	2,298	93.9	2,508	96.9	+9.2
人件費	1,032	-	1,117	-	+8.2
管理費	1,265	-	1,391	-	+9.9
営業利益	149	6.1	80	3.1	△46.3
国内事業	127	-	29	-	△77.2
海外事業	21	-	51	-	+139.5
経常利益	150	6.1	79	3.1	△47.0
当期純利益	88	3.6	51	2.0	△42.0

3Qは営業利益率が持ち直し、5.3%。損害保険（ストック収益）と生命保険（フロー収益）の積極的なアップセル・クロスセルを通じて、さらなる営業利益拡大、営業利益率向上を狙う。

営業収益・営業利益率（百万円）

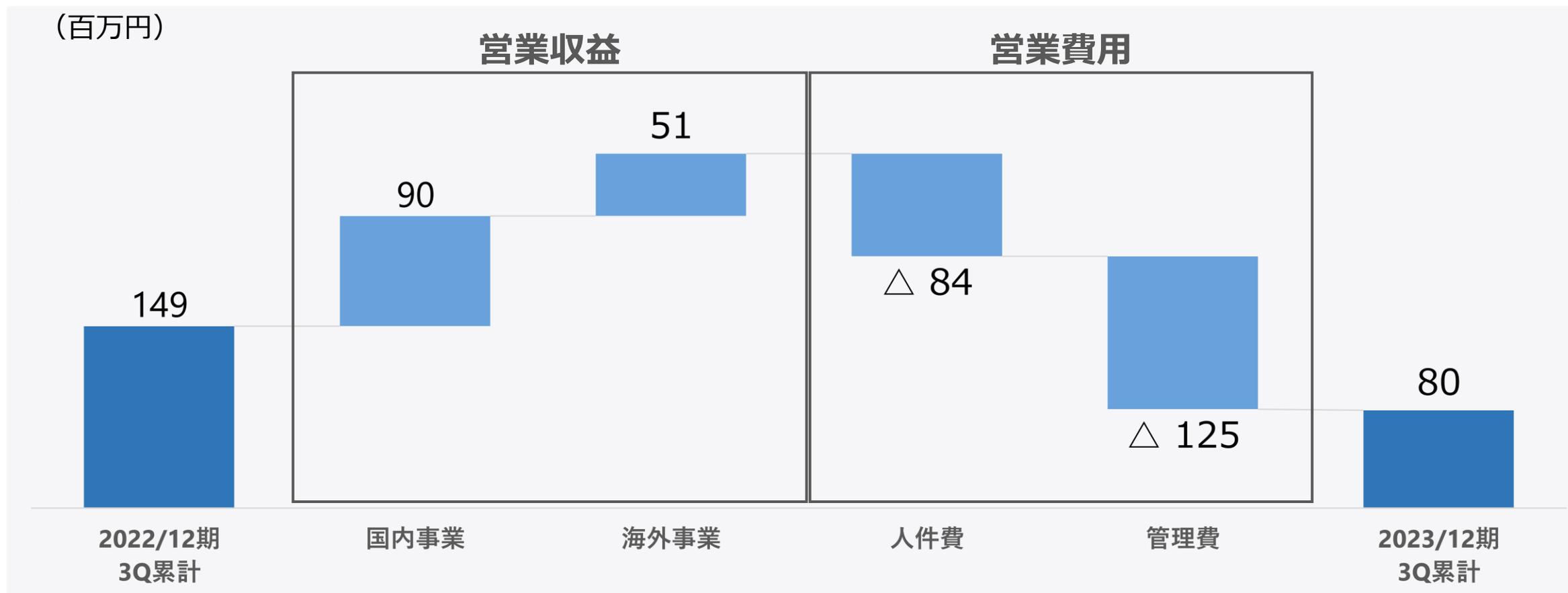


営業利益（百万円）



営業収益は、国内事業、海外事業ともに、手数料収入増により増加。

営業利益は、国内事業における先行投資による営業費用の増加等により、前年同期比で減少。



3Q累計で35件のM&A及び事業承継を実施し、25名のパートナー社員及び勤務型代理店が増加。その多くが損害保険の募集人であり、当社への合流を通じて当社の損害保険のマーケットは拡大。

パートナー社員数・勤務型代理店数 (人)



パートナー社員

当社との間で雇用関係にあり、当社のコア社員（正社員、嘱託社員、パートタイマー社員）と同様に当社の取扱商品（生命保険商品及び損害保険商品）を取り扱うことができる



勤務型代理店

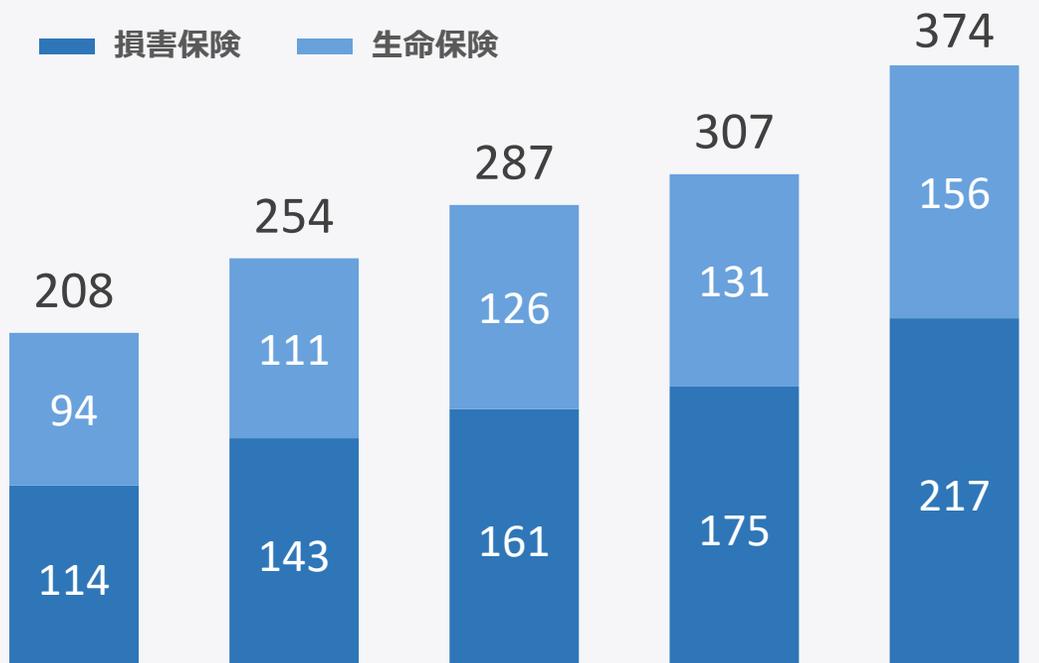
募集人1名の個人代理店としての登録であるため、生命保険は複数保険会社の取扱いはできず1社の商品のみ、損害保険は保険会社と委託契約書を結ぶことで複数社の商品を取り扱うことができる



M&A及び事業承継によるマーケット拡大（お客様の数の増加）及びアップセル・クロスセルを通じた事業規模拡大（取扱保険料の増加）を実現。

取扱保険料 (億円)

■ 損害保険 ■ 生命保険



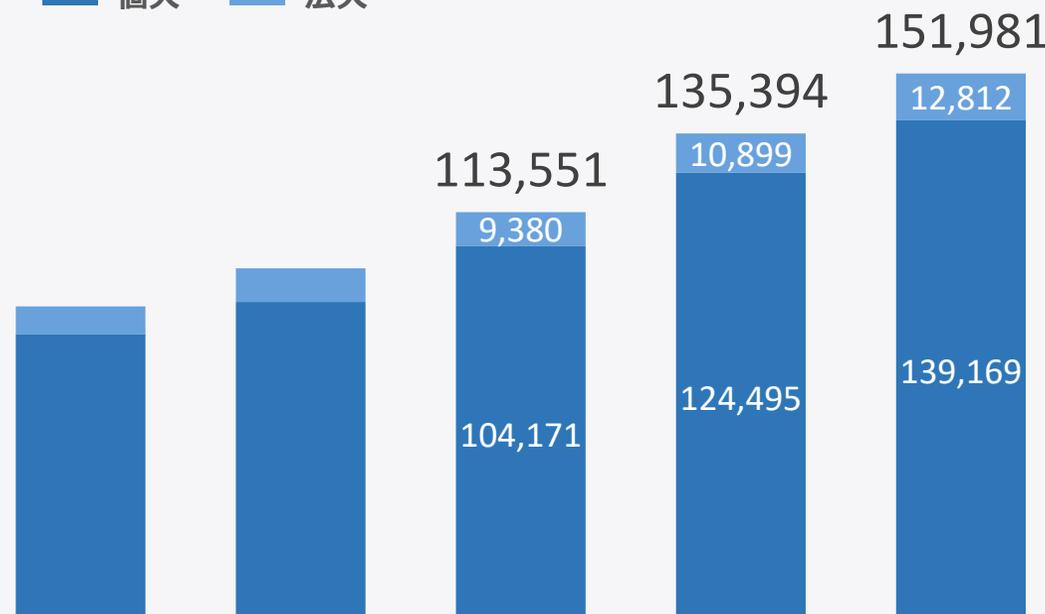
2019/12期 2020/12期 2021/12期 2022/12期 2023/12期

※単体
※取扱保険料：年度末時点でお客様から受け取り保有している保険料

3Q

お客様の数 (人/社)

■ 個人 ■ 法人



2019/12期 2020/12期 2021/12期 2022/12期 2023/12期

※単体
※2021/12期より集計方法を変更したため、2019/12期及び2020/12期のグラフは参考

3Q

2023年12月期 3Q 貸借対照表サマリー

3Qは、自己資本比率が54.3%で着地（前連結会計年度末は57.5%）。

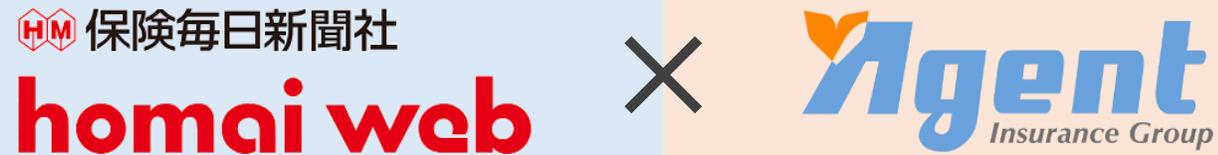
(百万円)	2022/12期	2023/12期3Q	増減額	備考
流動資産	1,414	1,624	+209	主に売掛金が106,489千円増加したことによるもの
固定資産	490	521	+31	主に顧客関連資産の増加46,432千円によるもの
資産合計	1,904	2,145	+241	—
流動負債	672	720	+47	主に預り金の増加等によるその他流動負債が67,169千円増加したことによるもの
固定負債	136	258	+122	主に長期借入金の増加123,404千円によるもの
負債合計	809	979	+170	—
(有利子負債合計)	235	348	+113	—
純資産	1,095	1,166	+70	主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が51,603千円増加したことによるもの
負債・純資産合計	1,904	2,145	+241	—

Index

目次

- 01 会社概要
- 02 2023年12月期 第3四半期決算概要
- 03 **トピック・2023年12月期 業績見通し**

株式会社保険毎日新聞社の株式を取得 保険業界の課題解決に取り組む



当社は、株式会社保険毎日新聞社（以下、同社）が発行する発行済株式の4.46%を、
2023年10月31日付で取得しました。

同社は、70年以上にわたり保険に関わるニュースを発信し続けている企業です。
多数の保険関連企業との取引実績や、ダウジョーンズやインシュアランスポスト等の
海外大手メディアをはじめ、国内のメディア企業との提携実績を有している同社が持つ情報発信力と、
当社の業界のノウハウによって、業界の抱える課題解決へ取り組んでいくことを検討しております。

保険会社との更なる関係強化を図りながら、損害保険のマーケット拡大に向けた中小代理店のM&A及び事業承継を推進。保険診断アプリ「ほけチョイス」を活用し、損害保険から生命保険へのクロスセルを促進。

(百万円)	2022/12期		2023/12期		
	実績	通期予想	増減率 (%)	3Q実績	進捗率 (%)
営業収益	3,267	3,767	+15.3	2,588	68.7
国内事業	3,095	3,574	+15.5	2,392	66.9
海外事業	172	193	+11.6	196	101.7
営業費用	3,070	3,490	+13.7	2,508	71.9
人件費	1,383	1,556	+12.5	1,117	71.8
管理費	1,686	1,934	+14.6	1,391	71.9
営業利益	197	276	+40.2	80	29.0
国内事業	176	257	+45.8	29	11.3
海外事業	20	19	△ 6.8	51	262.1
経常利益	187	276	+47.1	79	28.9
当期純利益	112	186	+66.0	51	27.6



2023年12月期 第3四半期決算説明資料

株式会社 エージェント・インシュアランス・グループ
(証券コード：5836)

2023年11月